

○調査結果の概要

1. 貿易企業の概要

・貿易実績のある企業 234 社

2023 年(暦年)における輸出企業は 187 社(前年 184 社)、輸入企業は 104 社(同 111 社)、これらのうちで輸出入ともに行っている企業は 57 社(同 61 社)で貿易企業は 234 社(同 234 社)となった。

所在地別では、松江市が 61 社と最も多く、続いて出雲市 59 社、浜田市 25 社の順となった。

2. 貿易実績

・島根県の 2023 年貿易額は 5,584 億円

県内企業の 2023 年(暦年)の貿易額(輸出入額)は 5,584 億円(前年 6,349 億円)であり、前年比で 87.9%となった。

輸出額 3,112 億円(前年 3,485 億円)に対し、輸入額は 2,472 億円(前年 2,865 億円)となっており、641 億円の輸出超過(前年は 620 億円の輸出超過)となった。

(1) 輸出の実績

・輸出額は 3,112 億円 輸出全体の 77.2%が機械、電気機器及び同製品並びに部分品

2023 年(暦年)の県内企業の輸出額は 3,112 億円(前年 3,485 億円)であり、対前年比 89.3%となった。

輸出品目別では、「機械、電気機器及び同製品並びに部分品」が 2,402 億円(構成比 77.2%)と最も多く、次いで「卑金属及び同製品」が 467 億円(同 15.0%)となっており、両品目で輸出全体の 92.2%を占めた。地域別では、アジアが 564 億円(構成比 18.1%)、ヨーロッパが 380 億円(同 12.2%)、北アメリカが 142 億円(同 4.6%)となっており、この三地域で全体の 34.9%を占めている。国別輸出額でみるとドイツが 241 億円(構成比 7.7%)、中国が 136 億円(同 4.4%)、韓国が 125 億円(同 4.0%)、アメリカ合衆国が 121 億円(同 3.9%)となっている。

輸出形態では、直接輸出が 506 億円(構成比 16.3%)、間接輸出が 2,606 億円(同 83.7%)となっており間接輸出の割合が高くなっている。

輸出の積出港をみると、最も多かったのは関西地域で全体の 24.8%、次いで関東地域が 7.4%と続いている。なお山陰地方の港の積出は、境港が 0.3%、浜田港が 0.1%となっている。

(2) 輸入の実績

・輸入額は2,472億円 輸入全体の58.7%が鉱物性生産品

2023年(暦年)の県内企業の輸入額は2,472億円(前年2,865億円)であり、対前年比86.3%となった。

輸入を品目別にみると、「鉱物性生産品」が1,450億円(構成比58.7%)と最も多く、次いで「機械、電気機器及び同製品並びに部分品」が305億円(同12.3%)、「卑金属及び同製品」が292億円(同11.8%)となっている。地域別では、アジアが932億円(構成比37.7%)と最も多く、オセアニアが841億円(同34.0%)、北アメリカが339億円(同13.7%)と続いている。国別輸入額で見ると、オーストラリアが837億円(構成比33.8%)、中国が454億円(同18.4%)、インドネシアが302億円(同12.2%)、カナダが268億円(同10.8%)となっている。

輸入形態は、直接輸入が1,756億円(同71.1%)、間接輸入が715億円(同28.9%)となっており、直接輸入の割合が高かった。

輸入を荷揚港別にみると、最も多かったのは三隅港で全体の62.6%を占めた。なお、その他の山陰地方の港の荷揚げは、境港3.8%、浜田港3.3%となっている。

3. 海外直接投資及び外国企業との提携

・投資先はタイが11件、提携先は中国が18件

海外への投資案件は全体で23社31件となっており、投資先を国別にみると、タイが11件となっており、地域別で見るとアジア全体で90.3%を占めている。

形態別では、独資16件、合弁8件、駐在員事務所5件、支店1件、その他が1件となっている。

県内企業の外国企業との提携は全体で27社64件あり、提携先を国別にみると、中国が18件(構成比28.1%)と最も多く、次いで韓国とベトナムがともに5件となっている。地域別にみると、アジアが49件で76.6%を占め、ヨーロッパが10件で15.6%、北アメリカが4件で6.3%となっている。

形態別では、販売代理店契約35件、委託加工貿易17件、技術供与6件となっている。